伊野コミュニティセンター広報誌　第55号（R 2.8月 発行）

伊野 ─INO─

～やって未来(みら)こい！ ENO 暮らし 2030 ～

発行：伊野コミュニティセンター
〒691-0072　出雲市野郷町 492-5　Tel (0853) 69-1526　fax (0853) 69-1530
E-mail：ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

ホームページ、Facebookも随時更新しておりますので、ぜひご覧ください。
フォローよろしくお願いします。Facebookの登録等、お問合せはコミセンまで。

伊野コミュニティセンター ホームページ　伊野地区自治協会 ホームページ　伊野地区自治協会 Facebook

―伊野地区の人口―
（R2.7月末現在）
男性… 599 人
女性… 654 人
合計…1,253 人
世帯数…417 世帯

農水部会第２弾！！

7/17

「よっ得!?伊野いち」オープン！！

戦略会議、農水部会のメンバーが第１弾である伊野米の米袋制作に続き、産直市場「よっ得!?伊野いち」の運営をスタートさせました。これは、伊野の食材を販売する拠点を設けることで、高齢者の生きがい創出と地域コミュニティの活性化、耕作放棄地の解消を目的としています。場所は国道431号線を伊野灘駅から東へ500ｍほど進んだ宍道湖側にあります。部会メンバーお手製の ㋵ の看板が目印です。開店時間は毎週金･土曜日の午前９～12時です。新鮮野菜や果物、花、もちや漬物、めだかなどが販売され地区内外からお客さんが立ち寄られました。今後も皆様からの出荷、ご来場をお待ちしています。

おしらせ　伊野米の米袋を購入ご希望の方は伊野コミュニティセンターまでおたずねください。

＊7月15日付け山陰中央新報にも掲載されました。

やって未来(みら)こい！通信

Part1「交流部会」編

空き家活用に向けた　交流アクション第一弾スタート！！

《空き家周辺の草刈りを実施》

人々が集い、伊野まちづくり活動を行う交流拠点とした、空き家活用プロジェクトがいよいよスタートしました。まずは地域住民の憩いの交流場として空き家の一部改築、周辺の環境整備等を来年春の仮運用に向け、今後進めていきます。また、8月4日には出雲市議会の空き家活用特別委員会に招待され、伊野地区での空き家再生プロジェクトについて提言。他に類をみない取り組みであるとの評価をいただき、今後モデルケースとして行政の方でも何か支援ができれば、というような発言もありました。

《空き家活用特別委員会の様子》

「みんなで作る、みんなで楽しむ、
みんなが繋がる」

をコンセプトに、今後の交流部会の活動に皆さんご協力を宜しくお願い致します。なお、活動の様子は伊野地区自治協会HPに掲載していきますので、ぜひご覧ください。

（交流部会部長　多久和　秀政）

《空き家活用案》

- ちょ伊野み宿
- 国際ワークキャンプ拠点
- 伊野ベーション活動拠点
- 伊野暮らし田舎体験
- 伊野留学、伊野民泊

地域おこし協力隊

― 福島沙織さん連載 ―　第2回

千葉から伊野に引っ越して来て、4か月が過ぎました。しぼを作ったり、「よっ得!?伊野いち」でレジ係をしたりするうちに、あっという間に過ぎ去った4か月。この間、いろんな方に、「伊野はどう？」と聞かれました。「いいところですね～！」と答えるのは、決してお世辞ではありません。

じゃあ、具体的に、伊野のどこが「いい」のか。自然が豊かなところ？新鮮な食材があるところ？出雲にも松江にもアクセスがいいところ？私が思う伊野の一番のいいところは、「利他の精神」です。誰かに何かしてあげよう、という気持ち。それが、伊野のあちこちにちりばめられていると感じます。

「食べる人に楽しんでほしい」という利他の精神が形になったものが「しぼ」なんだと思う。

初対面の私に「コーヒーを飲んでいかないか」と誘ってくれる人。夜な夜な伊野の地域づくりについて議論する人たち。会合のたびにずらりと並べられる手作りのおもてなし料理。きれいに刈り込まれた畦畔。コミセンの駐車場のマリーゴールド。伊野いちやトレイルランのおもてなしコーナー。あげたらキリがありません。しかもみなさん、見返りを求めないところがすごいなぁと思います。自分の時間とエネルギーを使って、他の人が喜ぶことをする。この、伊野全体を貫く精神は、伊野が何かをするときに、目に見えない大きな原動力になっているのだろうと思います。

みなさんは「そんなこと当たり前だわ」とおっしゃるかもしれませんが、都会で、マンションの隣人の顔も知らずに、満員電車で我先にと空席にかじりつこうとしていた私からすると、驚くべき利他精神です。私ももう少し余裕をもって、自分より外に目を向けなくてはと、伊野のみなさんから教えられています。

プロフィール

1983年生まれ、秋田県秋田市出身。大学（農学部）卒業後、農林水産省で14年間勤務。野菜農家の夫（斐川町出身）と子供2人（4歳、2歳）の4人暮らし。趣味は、料理、読書、アウトドア。
Twitter: @saori_izumo

伊野郷土誌を読む会

６月から毎月１回

西上町内の常松士郎さんを講師に招き、今年度から新たに伊野郷土誌を活用した歴史講座「伊野郷土誌を読む会」を６月から開催しています。毎回15名程度の参加者があり、郷土誌を読みながら伊野の成り立ちや地名の起こり、池尻家の由来などについて学びを深めています。この会は毎月１回第２木曜日の９時半から開催しています。どなたでもご参加いただけます。この機会にふるさと伊野の歴史について学んでみましょう。

秋冬野菜作り講習会 8/5

浅野種苗店の浅野昌之氏を講師にお迎えし、秋冬野菜を上手に作るコツを学びました。野菜も人間も同じ生き物。最初が肝心。呼吸がしやすく病気にならないような土壌をつくり、過ごしやすいよう日除けや風除け対策、栄養剤を適宜与え、密を避けるために早めの間引きが大事だそうです。受講された皆さんはぜひ今回学んだことを生かしておいしい野菜を作り、よっ得！？伊野いちでの出荷もぜひ目指してみてください。

伊野小2年生伊野探検 7/8

伊野小学校２年生８名が生活科の授業「伊野探検」で伊野コミュニティセンターに来訪されました。コミセンの名前の意味は？どんな仕事をしているの？誰が利用するの？など多くの質問が飛び交い、センター長の説明を皆真剣に聞いてメモしていました。最後に館内の見学をして探検を終えました。これを機に児童の皆さんがコミセンや地域に関心をもち、これからどんどんコミセン行事に参加してくれると嬉しいです。

伊野小5·6年生来館 7/21

伊野いちで販売しようと小学校で栽培していたじゃがいも。しかし、６月の伊野いちが中止となり販売することができませんでした。そこで子どもたちにぜひ物を売る体験をさせたいと伊野いちTシャツに身を包んだ可愛い売り子の５・６年生11名がコミセンを訪れ、手書きの可愛いらしいメッセージカードを同封し、同量ずつ袋詰めしたじゃがいもを販売に来てくれました。次こそ秋の伊野いちで活動できるといいですね。

自転車鍵掛け防犯チェック 7/27

伊野地区には２名の地域安全推進委員さんがおられます。小境駐在所と連携し、地域の防犯活動の推進にご尽力をいただいています。この度、伊野･東合同で小境駐在所の永海さんと共に小境駐在所館内の５箇所の駅の駐輪場にある自転車のカギかけチェックを行いました。そのうち４分の１の自転車が無施錠でした。盗難にあわないためにも皆さん鍵を施錠するよう心掛けましょう。

事業中止のお知らせ

以下の行事が新型コロナウィルス感染症の影響により中止となりました。
皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

地区民体育大会（9月27日）
敬老会（10月11日）
雲州ひらた体育祭（10月18日）
文化祭（11月８日）

赤ちゃん紹介

男の子

むらまつ　こうが
村松　倖和　くん

令和２年６月20日生まれ
父：龍太郎さん、母：彩さん
（西地合町内）

－ご家族から倖和くんへのメッセージ－

元気に育ちますように。

伊野ふるさと探訪　Part20

「金刀比羅神社」（ことひら）

　大谷町内の美野本線の北の山中にあります。いつ頃誰が勧請したか等不明ですが、四国香川県の金刀比羅神社の分祀と思われます。かつて大谷町内から西灘にかけて秋鹿瓦といわれる屋根瓦の製造をする家が数戸ありました。重い荷物を運搬するには船が便利で宍道湖を利用することが多くありました。その安全を祈願するために祀られたものと考えられます。なお、祭日は７月10日です。

（郷土誌研究会　常松士郎氏）

表彰　原田博さん（引木）

　このたび、引木町内の原田博さんが出雲市より功労者表彰を受賞されました。原田さんは平成10年に平田市交通指導員に就任されてから20年間にわたり地区内外の交通安全指導に尽力されました。

　受賞おめでとうございます。

伊野ベーション学生への支援物資寄贈　6/12

　伊野の子どもたちと自然を舞台に遊びを展開している島根大学教育学部の大学生。現在新型コロナウィルスの影響により伊野ベーションの事業が中止となり、かつ、通学やバイトも制限され苦労している学生の皆さんを応援しようと、地区の皆様から米やレトルト食品など多くの支援物資を提供いただき、多久和自治協会長より伊野ベーションの代表２名へ寄贈されました。学生らは伊野地区の皆様のご厚意に大変感激していました。ご寄贈いただきました皆様、ありがとうございました。

表彰　交通安全協会伊野支部

　伊野地区で行っている街頭指導や交通安全教室等の取り組みが評価され、昨年度に続いて今年度も出雲市交通安全協会より表彰を受けました。これも住民の皆様のご尽力のおかげです。ありがとうございました。

コシアカツバメ子育て日記

　コミセン事務室南側の外壁天井にコシアカツバメが巣を作り、ひなを育てていました。コシアカツバメは一般的なツバメより一回り大きく、腰が赤いのが特徴。また、巣も一般的なツバメの巣のようにお椀型を半分にした形ではなく徳利型を半分にした様な変わった形をしています。７月中旬頃に孵化し、その後ぐんぐん大きくなり、８月中旬頃から順次巣立っていきました。これまでの子育ての様子はFacebookでも紹介していますのでぜひご覧ください。

ふるさと広場マリーゴールド花盛り

　５月に植えたマリーゴールド。黄や橙の花が咲き乱れ、とても綺麗で伊野本線が明るくなりました。きれいな花を見ると心も癒されますね。多久和さんには間引きや追肥、水やりなど日々お世話していただき感謝いたします。ありがとうございます。

お知らせとお願い

　イベント・事業や会議の様子をカメラで撮影させていただくことがあります。撮影した写真はコミセンや自治協会（ホームページや広報誌掲載等）で使用することがあります。皆様のご理解とご協力をお願いします。なお、不都合のある方はお申し出ください。